

研修報告

相互啓発研修

- ◆テーマ : MSW の地域包括ケア参画と地域包括支援センターとの協働
- ◇講師 : 末藤 和正氏 (海南病院/弥富市地域包括支援センター)
- ◇研修日 : 平成 30 年 7 月 28 日 (土) 13:30~15:30
*台風のため 30 分前に終了
- ◇会場 : ウィンクあいち 1102 会議室
- ◇参加人数 : 22 名



◆研修の内容について

当協会に新たに発足した「機能分野別研修委員会」の第 1 回目の研修を開催しました。病院 MSW と地域包括支援センター・老健・行政機関がペアになり、地域課題と今後の実践的なアクションプランを話し合うという、初の試みでした。

講師の末藤氏から弥富市内で行われている取り組みを中心に、医療機関と地域包括支援センター双方に共通する課題や、協働事業の実例の紹介がありました。またペア参加者同士のグループディスカッションでは、各市町における地域課題を話し合い、明日からのアクションプランを具体化して話し合うことができました。

◆アンケート コメント紹介

- ・ 普段は聞く事ができない包括支援センターの仕事を知ることができた。
- ・ 地域の高齢者向けの教室で、「笑えることをすれば人が集まる」と聞き、病院職員には単純に笑える軽さが無いと思いました。医師に単純に笑える話を依頼してみたい。
- ・ ペア参加はグループと違い、互いの率直な思いを話し合うことができ大変よかった。
- ・ 問題点の抽出だけでなく、それを解決するために何をしなければならないか、知識、行動力、連携力、ネットワークの必要性について再認識することができました。

この研修をモデルにして、相互啓発研修の開催を希望するブロックには委員会として企画を支援して参りますので、ぜひお声かけください。

研修委員長 片寄 慶